

始良市幼保小連携 接続期カリキュラムの手引き

接続期カリキュラムとは

「接続期カリキュラム」とは、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図るためのものであり、接続期の教育内容のつながりをまとめたものです。

幼児期は「学びの芽生え（無自覚的な学び）の時期」、児童期は「自覚的な学びの時期」であり、幼児期の教育と小学校教育では、学び方に違いがあります。その接続を円滑にするためには、幼児教育・小学校教育において、それぞれどのような取組がなされており、それぞれがどう関連しているのかを指導者（教師、保育者）が認識し、意図的に子どもたちにかかわることができるようにすることが必要です。

この資料は、そのための基礎的資料として作成しました。

「始良市接続期カリキュラム」をどのように活用するか

① アプローチカリキュラムの作成・見直しのための資料として

アプローチカリキュラムとは、幼稚園・保育所での子どもたちの育ちや学びを小学校につなぐために作成するカリキュラムです。

アプローチカリキュラムを作成したり、見直したりする際、幼児期の生活や経験が小学校でどのような生活や学びにつながっているのかを見通すための資料として活用してください。

② スタートカリキュラムの作成・見直しのための資料として

スタートカリキュラムとは、小学校に入学した子どもたちがスムーズに小学校の生活や学びに適應できるように作成する1年生入学当初のカリキュラムです。

スタートカリキュラムを作成したり、見直したりする際、幼児期のどのような経験が、小学校の生活や学びの土台となっているかを確認するために、また具体的な指導計画を立てるための資料として活用してください。

③ 幼・保・小の教職員の連携の資料として

幼・保・小の教職員の合同研修会等において、互いの教育・保育の内容や子どもたちの学び方を理解したり、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの工夫について意見交換・情報交換したりする際の資料として「始良市接続期カリキュラム」を活用してください。

また、幼稚園・保育所、小学校で、子どもたちの生活や学びを見取るための資料として活用してください。

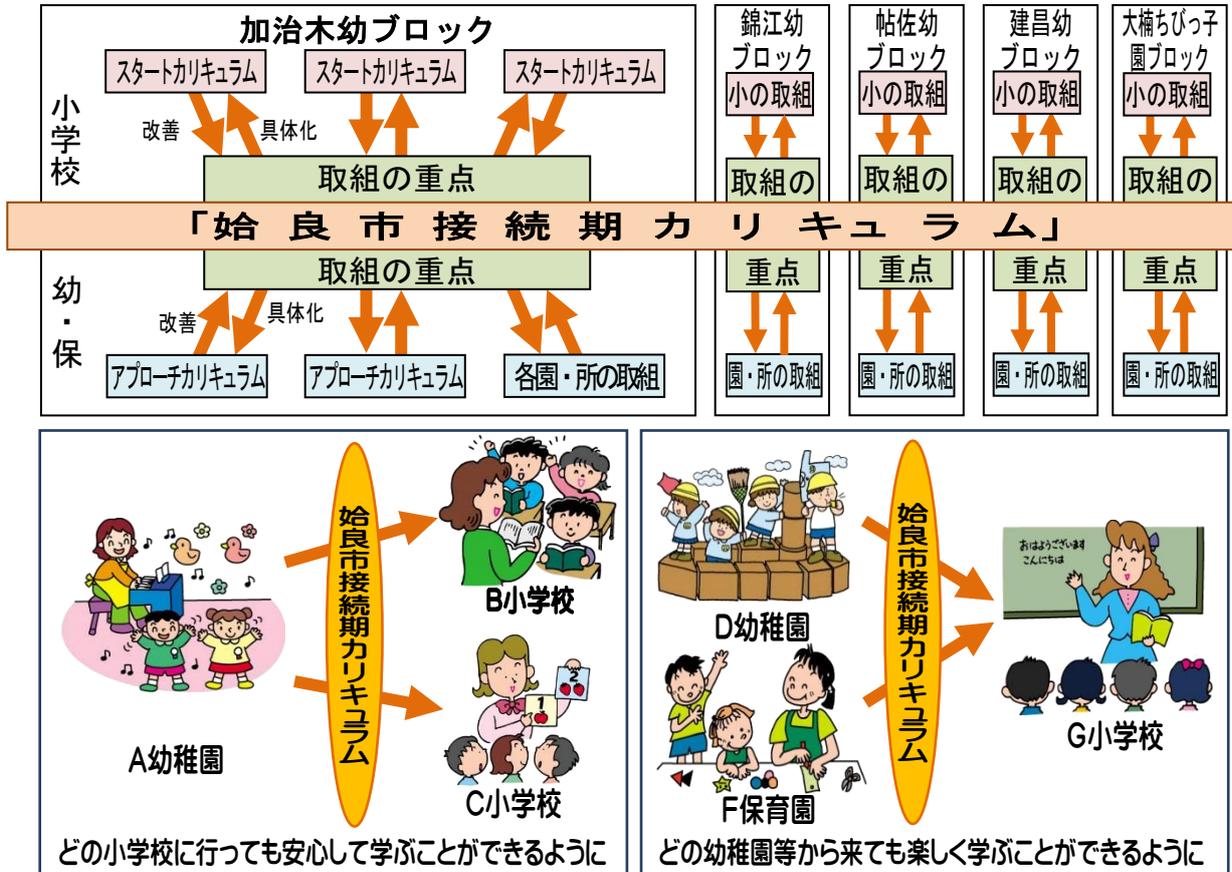
④ 保護者への説明資料として

始良市では平成25年に「始良市子育て基本条例」を施行しました。その中において「家庭は子育ての第一義的役割を有する。」と述べられています。つまり、保護者のかかわりと幼・保・小でのかかわりが同じ方向を向いていることが、子どもの成長につながります。幼・保・小での取組を保護者へ説明したり、理解してもらったりするための資料として活用してください。

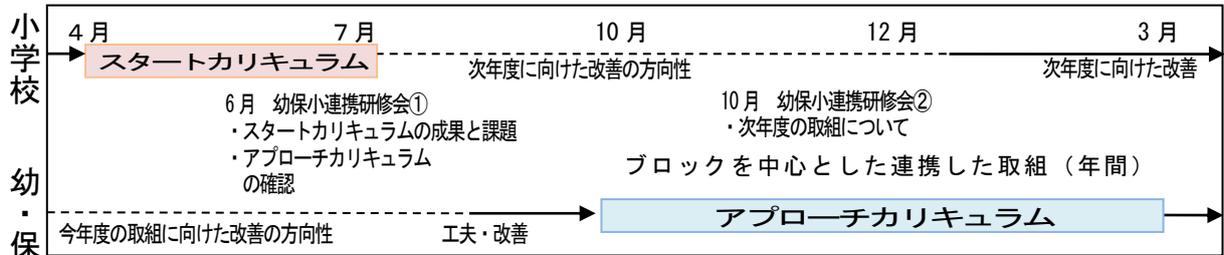
始良市の幼保小連携の基本的な考え方

◎ 始良市の幼保小連携についてのイメージ図

◆全体イメージ



◆幼保小連携推進スケジュールのイメージ



「始良市接続期カリキュラム」の目指すもの

◎ 幼・保・小が協働で育てる「始良市の子ども」

